

電磁波吸収体の製品化支援

【相手先企業】

日本無機 株式会社

【目 的】

電子・通信技術の発達により、携帯電話、ETC、無線LAN等、高周波（GHz帯域）の電磁波を利用した情報通信が活用されつつあります。しかしながら、電磁波の反射・干渉、他の不要電磁波による誤動作の発生等がこのような無線システムを普及させる上で、大きな問題点となっています。そこで、このような高周波領域での電磁波を吸収する材料を、自社で保有する技術を活用し開発・製造することを目的としました。

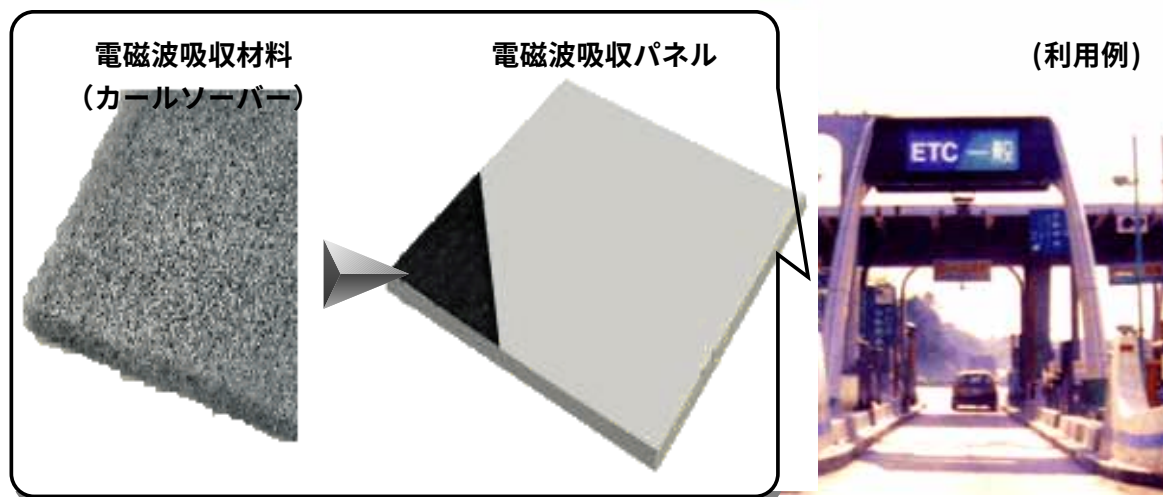
【内 容】

電磁波吸収特性の測定機器・測定・評価方法、カーボン系材料の活用法についての相談を受け、製品化支援を行いました。

【成 果】

カール状のガラス繊維に、カーボン系の電磁波損失材料を担持させることで、一層の吸収体により広帯域で、斜入射特性にも優れた吸収体の開発に成功しました。

また、ガラス繊維の特性により不燃性、超軽量、吸音機能の付加などの特徴があり、無線LAN用・ETC用電磁波吸収パネル等、様々な用途で活用・販売され、今後の展開も期待されています。



製品となった吸収材料とその利用例

基礎となった事業：EMC技術による製品化支援事業（平成11年度～）

担当部署：生産技術部